

## ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社と研修事業で資本・業務提携

日本経済新聞社（本社：東京都千代田区、代表取締役：喜多恒雄）は19日、ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社（本社：東京都港区、社長：森捷三、略称：WLW＝ジャスダック上場）と資本・業務提携することで合意しました。

WLWが世界50カ国で展開するセールス、マネジメント、リーダーシップなどのビジネススキル研修と、日経の経済知力育成研修を組み合わせることで、他社にない商品ラインアップを確立、企業向け研修事業の成長を加速化するねらいです。

日本経済新聞社は、WLWが実施する第三者割当増資によるWLW株式360,900株の引受けと、森社長の資産管理会社であるサンウッド株式会社が持つWLW株式412,400株の譲渡を合わせて、増資後の発行済み株式数の15.0%を取得。社外取締役を一人派遣する予定です。株式の取得は4月5日を予定しています。

### 1. 提携の目的

日本経済新聞社はこれまで、日経ビジネススクールやeラーニング事業、日経TEST事業など、主に経済やビジネスに関する知力を向上する研修を提供してきました。このうち日経TESTは経済に関する知力をはかる指標として、2008年秋に事業化、採用企業は約1000社、受験者数は10万人を突破するまでになりました。

今回の提携により、ビジネスパーソンに必要なもうひとつの側面であるビジネススキルの向上にかかわるコンテンツを充実させるとともに、海外での研修も可能にし、グローバル展開する企業や、海外を研修現場にしたグローバル人材の育成にも対応していきます。

WLWにとっても、ビジネススキルだけでなく、知力系の研修を交えた幅広いカリキュラムを提供できるようになり、営業力の向上につながると考えています。

### 2. 業務提携の内容

- ① コンテンツの提供 日経TESTなど日経が持つ独自の研修コンテンツを、WLWの顧客に提供していきます。
  - ② 研修イントラネットの開発 WLWが行っている研修のためのイントラネット開発技術を活用しながら、日経のコンテンツを加えて、顧客企業の需要
-

に応じたオリジナルの研修体制を構築、納入します

- ③ グローバル人材研修事業 W L Wの海外拠点、講師を活用しながら、世界展開している日本企業の海外法人の研修や、新しいグローバル人材研修を開発します。
- ④ 公開型研修の実施 W L Wが持つ研修カリキュラムを日経ビジネススクールなど公開型の研修で展開していきます。

## <参考>

### ウィルソン・ラーニング ワールドワイド (W L W) の概要

#### 会社概要

設立	1981年12月
本社所在地	東京都港区六本木
代表取締役社長	森 捷三
資本金	6億7036万円 (4,793,680株)
大株主	森 捷三 (906千株) 18.9%
	サンウッド (750千株) 15.7%
	大阪証券金融 (223千株) 4.7%
	ジャフコ (200千株) 4.2%

#### 沿革

1965年創業の米国の研修企業。1981年に日本に進出。1991年、日本法人の代表を務めていた森捷三社長が米国法人をマネジメント・バイアウト方式で逆買収。社名をウィルソン・ラーニング ワールドワイド (W L W) に変更、本社を東京に置いた。1995年に、ジャスダックに上場した。

米国、英国、ドイツ、フランス、中国、豪州、シンガポール、インド、南アフリカなど世界に13社、連結対象子会社を持ち、世界50カ国に代理店がある。

日本国内では、人材採用・仲介事業も一時手がけたが、経営資源を、人材育成事業とそのグローバル展開に集中させるため、2010年に事業を売却。この結果、売り上げが減少したが、赤字継続から脱却、2012年3月期から連結ベースで黒字に転換している。

従業員は連結対象子会社を含めて151人 (2012年3月末現在)。うち日本国内が61人。米国の研修に関するポータルサイト、トレーニングインダストリー・ドットコムは、W L Wをセールスフォース・トレーニング、リーダーシップ・トレーニングなど3分野で世界のトップ20社に選出している。

以上

※ ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社は別途J A S D A Qの記者クラブに提携の詳細等をプレスリリースしています。